

平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦澤 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,914	0.9	21	40.3	149	1.0	106	32.4
29年3月期第1四半期	12,027	3.1	15	28.4	150	14.4	80	23.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 453百万円 (%) 29年3月期第1四半期 800百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	15.06	
29年3月期第1四半期	11.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	19,176	13,200	68.8
29年3月期	18,841	12,817	68.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 13,199百万円 29年3月期 12,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				10.00	10.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	0.8	35	66.2	150	38.6	90	79.4	12.73
通期	53,000	2.3	220	4.8	425	7.2	260	52.7	36.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	7,261,706 株	29年3月期	7,261,706 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	193,953 株	29年3月期	193,953 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	7,067,753 株	29年3月期1Q	7,069,800 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や設備投資、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復基調となりましたが、一方で、米国の政策運営への懸念や欧州の政治情勢等の影響による世界経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、水産資源の管理強化や気候変動による漁場・漁期の変化に伴う漁獲量の減少に加え、アニサキス報道による生鮮魚販売への影響など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成29年度から平成31年度まで3ヵ年の中期経営計画「MMプラン4th Stage」を策定しました。新しい中期経営計画では、「原点回帰からの新たな挑戦」をテーマとし、5つの重要戦略を掲げ、神奈川地産地消ブランド品の強化、丸魚グループでの共同集荷の構築、人材育成に対する意識の強化、働き方改革の実現などを目標とし、グループ一丸となって取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,914百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ112百万円(△0.9%)の減収となりましたが、営業利益は21百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ6百万円(40.3%)の増益となり、また、経常利益は149百万円(前年同期比1.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は資金運用による投資有価証券売却益16百万円を特別利益に計上したこともあり、106百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は9,409百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ3百万円(0.0%)の増収となり、営業損失も12百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1百万円(前年同期 営業損失14百万円)の改善となりました。

(水産物販売事業)

売上高は2,427百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ112百万円(△4.4%)の減収となりましたが、営業利益は11百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ3百万円(45.3%)の増益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は21百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円(△2.3%)の減収となりましたが、営業利益は15百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1百万円(8.6%)の増益となりました。

(運送事業)

売上高は55百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ4百万円(△6.9%)の減収となり、営業利益も5百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1百万円(△15.8%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、19,176百万円と前連結会計年度末に比べ335百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加135百万円、受取手形及び売掛金の減少78百万円、商品及び製品の減少137百万円、投資有価証券の時価評価等による増加417百万円によるものであります。

負債は、5,976百万円と前連結会計年度末に比べ47百万円減少しました。この主な要因は、引当金の減少43百万円によるものであります。

純資産は、13,200百万円と前連結会計年度末に比べ382百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加35百万円及びその他有価証券評価差額金の増加346百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月19日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,281	2,417
受取手形及び売掛金	4,187	4,109
有価証券	20	20
商品及び製品	1,370	1,232
その他	20	41
貸倒引当金	△671	△654
流動資産合計	7,209	7,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,157	1,143
土地	1,294	1,294
リース資産(純額)	75	68
その他(純額)	45	43
有形固定資産合計	2,572	2,550
無形固定資産		
ソフトウェア	152	136
その他	12	12
無形固定資産合計	164	149
投資その他の資産		
投資有価証券	8,808	9,226
長期貸付金	9	9
破産更生債権等	469	463
その他	65	65
貸倒引当金	△458	△452
投資その他の資産合計	8,894	9,311
固定資産合計	11,631	12,010
資産合計	18,841	19,176

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,750	2,654
未払法人税等	196	45
引当金	55	12
その他	272	378
流動負債合計	3,274	3,089
固定負債		
退職給付に係る負債	589	582
資産除去債務	24	24
繰延税金負債	1,801	1,952
その他	332	325
固定負債合計	2,748	2,886
負債合計	6,023	5,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	376	376
利益剰余金	7,001	7,037
自己株式	△107	△107
株主資本合計	8,812	8,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,003	4,350
その他の包括利益累計額合計	4,003	4,350
非支配株主持分	1	1
純資産合計	12,817	13,200
負債純資産合計	18,841	19,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	12,027	11,914
売上原価	11,187	11,087
売上総利益	839	827
販売費及び一般管理費	824	805
営業利益	15	21
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	131	125
その他	3	3
営業外収益合計	136	128
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	150	149
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16
特別利益合計	—	16
特別損失		
固定資産除却損	2	—
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	147	165
法人税、住民税及び事業税	67	58
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	67	59
四半期純利益	80	106
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	80	106

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	80	106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△880	346
その他の包括利益合計	△880	346
四半期包括利益	△800	453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△799	453
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	9,405	2,540	22	59	12,027	—	12,027
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	808	12	13	30	865	△865	—
計	10,213	2,553	35	89	12,892	△865	12,027
セグメント利益又は損失 (△)	△14	8	14	6	14	0	15

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円及びセグメント間取引
消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	9,409	2,427	21	55	11,914	—	11,914
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	903	14	8	28	955	△955	—
計	10,313	2,442	30	83	12,870	△955	11,914
セグメント利益又は損失 (△)	△12	11	15	5	19	1	21

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円及びセグメント間取引
消去0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。